令和５年度

第５次総合計画　中期戦略事業プラン　事務事業評価シート

事業名	森林管理促進事業			事業番号	23-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	大町　徹	農業振興課農林整備担当	佐野　直希	

計　　画　　（Ｐｌａｎ）

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進
予算事業名	林業基盤整備事業費			
	森林管理事業費			
事務区分〔選択〕	◉自治事務　○法定受託事務　(選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前　～	終了年度	－
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱（水源の森林づくり協力協約事業、水源環境保全・再生市町村補助金事業）			
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、神奈川地域森林計画		計画期間	平成23年度～
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画、第4期水源環境保全・再生市町村5か年計画		計画期間	平成23年度～
実施の背景（事業を取りまく環境・市民ニーズ）	水源の森林エリア内の高齢級の間伐、枝打ちなど、森林の適正な整備及び保全を行っていくなかで、施業着手が困難な状況にある森林が散見されるため、施業に必要な作業路網の整備を推進していく必要があります。 また、市内では野生動物が頻発に出没し集落に悪影響を与えているため、水源涵養機能の向上とともに野生動物の出没を抑制する狙いから、集落周辺の荒廃した森林を整備する必要があります。			
目　的（何をどうしたいのか）	森林の荒廃を防ぎ森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、作業路の整備など、継続的な森林整備を進めます。			
主な対象（誰・何を対象に）	民有林			
事業内容（手段、手法など）	・作業路網の整備を行います。 ・協約締結地の森林整備（間伐・枝打）を行います。 ・集落周辺（大山地区・比々多地区）の森林整備（間伐・枝打・除伐等）を行います。			

事業行程	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	作業路の整備	工事	工事
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打
	集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・つる切り	間伐・枝打・除伐・つる切り

目　標	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	作業路の整備延長	L=980m（令和2年度）	L=700m	L=550m

事業実施（Do）

事　業　実　施　　（Ｄｏ）

事業の「取組方針」 （前年度事務事業評価）	・森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。

実施方法〔選択・記入〕				
○ すべて直接実施		◉ 左記以外		
☑ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	伊勢原市森林組合	
☑ 補助金		補助先	伊勢原市森林組合	
☐ その他		具体の内容		

実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	作業路の整備	工事	工事
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打
	集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・丸太筋工	間伐・枝打・除伐・つる切り

実施した取組の内容
・作業路L=820mの整備を実施しました。 ・協約締結地A=15haの森林整備を実施しました。 ・集落周辺A4.47haの森林整備を実施しました。

目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	作業路の整備延長	L=980m （令和2年度）	L=770m	L=820m

コスト	年度	令和3年度　実績				令和4年度 実績			
	事業費合計(a)			19,160	千円			19,658	千円
内訳	国県支出金 ①			15,705	千円			16,241	千円
内訳	地方債　②			0	千円			0	千円
内訳	その他特財　③			0	千円			0	千円
内訳	一般財源 (a)-①-②-③			3,455	千円			3,417	千円
	国県支出金の内容	神奈川県協力協約推進事業補助金　補助率90%（作業路）補助率80%（森林整備） 神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金　補助率100%							
その他特財の内容	受益者負担	○ 有　◉ 無		前回の改定時期					
その他特財の内容	その他								
人件費	正規職員	0.37	人	3,027	千円	0.56	人	4,799	千円
人件費	その他の職員	0.37	人	1,125	千円	0.37	人	1,228	千円
人件費	人件費合計(b)	0.74	人	4,152	千円	0.93	人	6,027	千円
	トータルコスト (a)+(b)			23,312	千円			25,685	千円
単位当たりコスト	対象数 定義	市民			単位	市民			単位
単位当たりコスト	対象数 対象数			101,381	人			101,119	人
単位当たりコスト	総事業費／対象数			230	円			254	円

評価　（Check）へ

評　価　（Ｃｈｅｃｋ）

進捗状況 〔選択・記入〕	◉ 計画どおり（A） ○ 概ね計画どおり（B） ○ 計画どおり進捗せず（C）	A	**左記判断理由**	・作業路の整備計画延長L＝550mに対し、L＝820mの整備を行いました。また、作業路を活用した協力協約締結地の森林整備や、集落周辺の森林整備を効率的に行うことができました。
実施水準 〔選択・記入〕	○ 他市より高い水準で実施（A） ◉ 他市と同水準で実施（B） ○ 他市より低い水準で実施（C） ○ 一律に比較できない事業	B	**他都市の事業内容等**	・神奈川県の標準単価を使用していることから、他市と同水準での事業実施が行えています。
有効性 〔選択・記入〕	◉ 高い（A） ○ 普通（B） ○ 低い（C）	A	**左記判断理由**	・作業路の整備により、林業機械の導入が可能となり、林業作業の効率化、生産性の向上につながる等、有効な森林整備を行うことができました。また、集落周辺の森林整備を行ったことで、有害鳥獣の出没抑制の効果が期待されます。
効率性 〔選択・記入〕	◉ 効率的に実施されている（A） ○ 改善の余地がある（B） ○ 抜本的な改善が必要である（C）	A	**左記判断理由**	・森林施業に従事している森林組合に本事業を委託することで、効率的に実施することができました。

取組内容の改善（Action）へ

取組内容の改善　（Ａｃｔｉｏｎ）

所管部長による総評	森林の持つ多面的機能（土砂災害の防止・水源涵養など）を発揮させるためには、適切な森林施業を継続的に実施する必要があります。このため、作業路の整備や森林整備は必須であり、今後も計画的に推進していく必要があります。